

## 課題①

### オーディション対象：20代～30代の女性

設定：女性20代～30代

場所：VRシアター

店員からVRゴーグルと腕に巻くバンドを受け取る。バンドには人体の電気信号を読み取る装置に繋がっていて、女性は以前にもこのシアターに来たことがあるので、そのことを知っている。女性は手慣れた手つきでバンドを腕に巻き、ゴーグルを頭にセツトする。少し待つと、ある場面が映し出される。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

おなかの中の胎児。へその緒で母親の胎盤とつながった状態で、子宮の中に浮いている。まだ人間の形が形成される途中にある。心臓の拍動は見えない。胎盤の周辺には、黒く小さな点が無数に広がっている。黒い点はへその緒の付け根に集中していて、血液や体液の流れを遮っているようにも見える。胎児がピクリと動くが辛そうである。しばらくすると、もだえ苦しむように痙攣を始め、ピタリと動きが止まる。そして胎児の身体が朽ち始める。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

「うわっ！」

大きな声を上げ、ゴーグルを投げ捨てるように外す。激しい動悸に襲われ、息ができなくらい苦しい。

「あ、あれがあたしの身体が発する信号なんですか！？」

思わず店員にそう呼びかける。店員は無表情にうなずき、女性からゴーグルを受け取る。女性は自ら腕のバンドを外し、店員に渡す。店員は事務的に作業する。

「全身を殴られた感じ。でもなんであんなものが見えたのでしょうか。」

無言の店員にさらに言葉をかける女性。

「赤ちゃんが見えたので…。あたし、ずっと流産を繰り返していたものですから。」